

令和7年度 松江市

# 介護の日コンテスト 作品集



イラスト部門



松江市立義務教育学校玉湯学園2年

「ぼくのたいせつなおじいちゃんとおばあちゃん」

【応募者コメント】ぼくのおばあちゃんはとてもやさしいです。

おじいちゃんはいつもおばあちゃんをたすけてくれます。



松江市立宍道小学校5年

「自分の町の社長さん」

【応募者コメント】夏休みに社会科見学に行って、かいご用品のレンタル会社の社長さんと見せてもらった物を描きました。





松江市立湖北中学校 1 年  
「人の気持ちを考えるために」



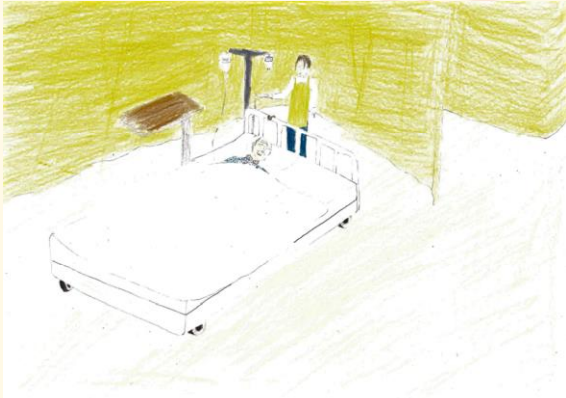
コメント: 一人一人が良い気持ちになれるように描きました。

松江市立湖北中学校 1 年  
「介護で広がる優しい世界」



コメント: 明るい世界になってほしいという思いをこめて描きました。

松江市立湖北中学校 1 年  
「介護」



コメント: 色付けは明るくやさしい色で描きました。

松江市立湖北中学校 2 年  
「介護士とおじいさん」



コメント: おじいさんが杖をついて歩いているのを支えている所を描きました。

松江市立湖北中学校 1 年  
「介助する人」



コメント: 温かいイメージにするためにまわりをオレンジでぬりました。

松江市立湖北中学校 1 年  
「あたたかいふんいき」



コメント: 介護の色々な場面を描きました。

松江市立湖北中学校 1 年  
「支えてくれる人」



コメント: 春の暖かさと介護士さんのやさしさを表現できるようにしっかり描きました。

松江市立湖北中学校 2 年  
「明るい未来」



コメント: 誰もが明るくなるために色で明るさを表現しました。



松江市立湖北中学校 3 年  
「しんせつに」



コメント:この先優しい人が増えるといいです。

松江市立第四中学校 1 年  
「優しいえがお」



コメント:おじいちゃんとおばあちゃんが笑顔で幸せに過ごしているのを描きました。

松江市立第四中学校 1 年  
「いつまでも元気でね」



コメント:つる、亀のように長生きしてね。

松江市立第四中学校 1 年  
「卓球」



コメント:目の色を濃くしてやさしそうな感じにしました。楽しそうにニコニコしているおばあちゃんを描きました。

松江市立第三中学校 3 年  
「長生きしてね」



コメント:ずっと元気でいてね。大好きなじい、ばあへ。

松江市立第四中学校 1 年  
「健康のために」



コメント:おじいちゃん健康のために血圧を測っているおばあちゃんを描きました。

松江市立第四中学校 1 年  
「夏野菜をとる私のおばあちゃんとおじいちゃん」



コメント:元気に野菜をとる祖母と祖父を描きました。

松江市立第四中学校 1 年  
「いつまでも仲良なおじいちゃんとおばあちゃん」



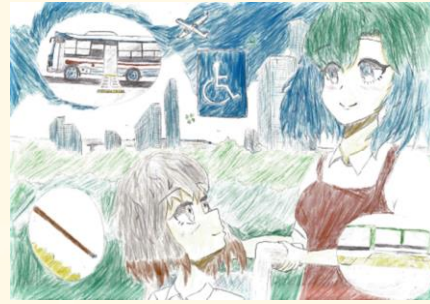
コメント:長い道をともに歩いてきた二人が、手をつなぎ、笑顔でお互いを支えあう絵にしました。

松江市立第四中学校 1 年  
「お日様の下で」



コメント:太陽が出て青空の下を歩いている介護士さんとおばあちゃんを楽しく描きました。

松江市立第四中学校 1 年  
「未来に続け介護の優しさ」



コメント:バスに乗って帰る時に松江駅からバスに乗りました。その時に車いすに乗っている人がいて、バスに乗るとスロープが出てきて車いすに乗っている人でもバスに乗れるようになっていて、バスからスロープが出ている所を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「車いすを押す看護師さん」



コメント:車いすを押している看護師さんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「家族コレクション」



コメント:とっても素敵

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「母の仕事」



コメント:母の仕事について考えながら描くことができたので良かったです。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「職場体験で見た風景」



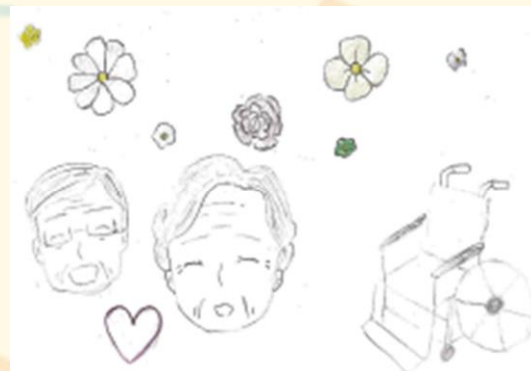
コメント:自分の見た風景でうまく描くことができました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「いつまでも長生きしてね」



コメント:祖父母が長生きしてほしいという思いを込めた作品です。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「ふくし」



コメント:想像しながら描きました。



島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおじいちゃんとおばあちゃん」



コメント:笑顔がすてき

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおじいちゃんとおばあちゃん」



コメント:まわりに 2 人が好きな物を描いたことがポイントです。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「いつまでも元気なおばあちゃん」



コメント:いつまでもすてきな人生を送ってほしいという思い。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「普段のくらしの幸せ」



コメント:いつも優しく笑顔がかわいいおじいちゃん、おばあちゃんを明るい色で表しました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「笑顔の年輪」



コメント:これかれも元気で長生きしてほしいという願いからこの絵を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「ずっと 1 人なんかじゃない」



コメント:私の祖父が今年亡くなってしまい、その祖父をモデルに描いてみようと思いました。祖母と祖父はいつまでも 1 人じゃなく 2 人で...というのをテーマで描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私の祖父母」



コメント:近くにいるからこそ伝えられない感謝の気持ちを表現しました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「いつまでも美味しいご飯を」



コメント:老人ホームにいる高齢者の方もいつまでも美味しいご飯を食べて、健康に過ごしてほしいという願いを込めて描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私の祖母」



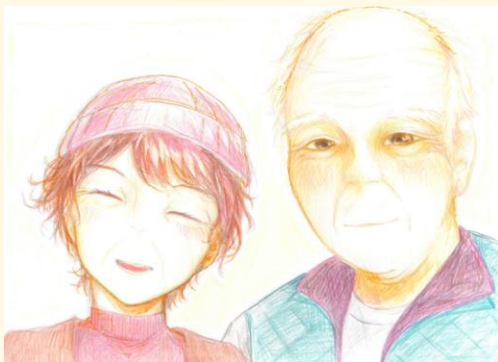
コメント: 日頃の感謝を伝えられる絵にしました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「家族」



コメント: 感謝の気持ちをもって描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私のおじいちゃんとおばあちゃん」



コメント: 今年引っ越してからあまり会えなくなってしまった祖父母の温かい表情を思い浮かべながら描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私の祖父母」



コメント: 2人のやさしさがわかるような笑顔にした。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私の大好きな祖父母」



コメント: 遠くに住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんを思って描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私の祖父母」



コメント: 私のおじいちゃんとおばあちゃんがずっと幸せに暮らせるようにと思いながら描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「大好きな祖母と祖父」



コメント: いつも私に優しくしてくれている祖母と祖父を描きました。

島根県立松江農林高等学校1年  
「私の祖父母とねこ」



コメント: 最近祖父母と会えてないので、思い出しながら描きました。



島根県立松江農林高等学校 1 年  
「やさしいおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:いつも一緒に暮らしているおじいちゃんおばあちゃんを描きました。優しい雰囲気を出すために、花を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:一緒に住んでるおじいちゃん、おばあちゃんを思い描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のひいおばあちゃん」



コメント:私には大好きなひいおばあちゃんが 2 人いて、その 2 人の顔を混ざって描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「日常」



コメント:日常を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおばあちゃん」



コメント:人の絵は苦手ですが、少しでもおばあちゃんに似るように描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「仲良しな祖父母」



コメント:これからもこうであってほしいという願いから仲良くコーヒーを飲んでいる祖父母を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「おばあちゃん」



コメント:花が好きなおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私の大好きなおじいちゃん、おばあちゃん」



コメント:大好きなおじいちゃん、おばあちゃんを気持ち込めて描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私の自慢のおばあちゃんとおじいちゃん」



コメント:いつもお世話になってるおじいちゃんとおばあちゃんたちに気持ちを込めて描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「大すきなおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:いつまで長生きしてほしいという願いをこめて描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「すてきな笑顔」



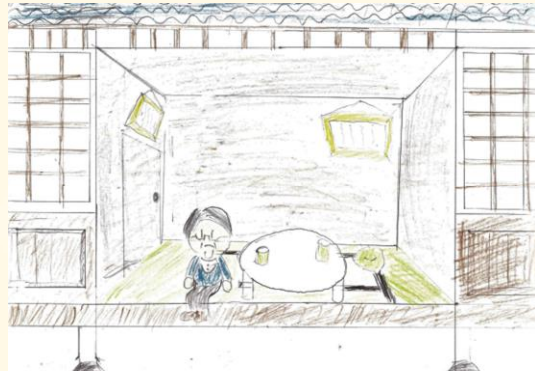
コメント:一緒に笑える関係とてもすてきだと思います。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「大好きなおじいちゃんといばあちゃん～長生きしてね～」



コメント:ずっと元気で笑っていてね！

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「くつろぐおじいちゃん」



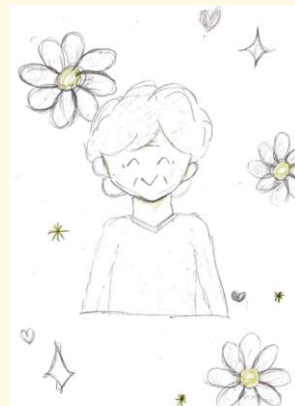
コメント:絵を描くのは苦手なんですけど頑張って描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「介護に携わる人」



コメント:介護士と利用者の楽しい会話を想像して描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおばあちゃん」



コメント:大好きなおばあちゃんが笑顔で過ごしてほしいという思いを込めて描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「カッコいい背中」



コメント:誰よりもカッコいい背中を描きました。



島根県立松江農林高等学校 1 年  
「見守るまなざし、信じる笑顔」



コメント:介護職員の人が見守る笑顔優しくていいなと思ったし、利用者さんの職員の人をしっかりと信用している感じが印象的だったので描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私の大好きなおばあちゃん」



コメント:私にとっておばあちゃんは大切な存在なのでそれを表現したいと思い、自分とおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「おばあちゃんと犬」



コメント:昔飼っていた犬とおばあちゃんが散歩している様子を描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「近くにいても遠くにいても」



コメント:入学式の日におばあちゃんと写真を撮っている時に、おじいちゃんっが近くにいるという自分だけのわかる合図が来たことを絵にしました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「夕日を見ている祖父母」



コメント:良い景色を2人で見ている所がほほえましい。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「お孫さんが介護士に憧れる」



コメント:おじいさんが介護されるのを見て介護士に憧れるお孫さん。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「大好きなおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:おじいちゃんおばあちゃんが仲が良いのでそれを表現して描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「スマホをかまうおばあちゃん」



コメント:私のあおばあちゃんはよくスマホをかまっているのをそれをイメージして描きました。

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私の大好きな時間」



コメント:私のおじいちゃんが理容師で幼いころの私が髪を切ってもらっている様子です。花はカスミソウ、カーネーション、コチョウラン

島根県立松江農林高等学校 1 年  
「私のおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:私のおじいちゃんとおばあちゃんが楽しく散歩している様子を描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「背面ポケット付き車椅子」



コメント:車椅子を利用する人が快適に使用できるようにと思いを含めました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「花火とおじいちゃん、おばあちゃん」



コメント:花火大会へ行くおじいちゃんとおばあちゃんです。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「おじいちゃん」



コメント:おじいちゃんの楽しそうなところを描いた。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「笑顔で介護」



コメント:介護する側が笑顔だとされる側も笑顔になるから残りの人生を笑顔で過ごしてほしいと思って描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「ずっと一緒に」



コメント:幸せな時間の一部を描きました。ずっと一緒にいたらいいなという気持ちで

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「大好きなおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:おじいちゃん、おばあちゃんの好きな物をたくさん描きました。



島根県立松江農林高等学校 2 年  
「普段の暮らし」



島根県立松江農林高等学校 2 年  
「仲良し元気なおじいちゃんとおばあちゃん」



島根県立松江農林高等学校 2 年  
「いつもの日常」



島根県立松江農林高等学校 2 年  
「じいじとばあばずっと笑っててね」



コメント:顔は笑顔で周りにおばあちゃんがいつも作ってくれるご飯でおいちゃんは絵を描くのが好きなので描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「楽しそうな笑顔」



コメント:これから笑顔な利用者さんと介護士さんが増えてほしいです。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「寄り添う」



コメント:2人で歩くおじいちゃんおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「おじいちゃんとおばあちゃんのこと」



コメント:なかなか会うことができないおじいちゃんおばあちゃんのことを思い出しながら描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「私のおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:祖父と祖母を描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「おじいちゃんとおばあちゃんの楽しみ」



コメント:2 人が大切にしている畑を描きたかったです。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「笑顔をつなぐ虹」



コメント:向かい合っている 2 人の温かさを表現しました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「支え合う」



コメント:笑顔で介護士さんが利用者さんの歩行を支えている所を描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「いつも元気でいてね」



コメント:いつまでも元気で笑顔ですごしてほしいと思います。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「大好きなおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:おじいちゃんおばあちゃんの好きな顔を描きました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「仲良しおじいちゃんとおばあちゃん」



コメント:笑顔がかわいいおじいちゃんおばあちゃんです。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「笑顔」



コメント:介護をする人もされる人も、みんな笑顔でいられるような社会になってほしいと思います。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「大切な人たち」



コメント:大好きな 2 人がずっと笑っていてほしいという想いを込めました。



島根県立松江農林高等学校 2 年  
「おばあちゃんと料理」



コメント:おばあちゃんとの楽しい料理の時間を絵にしました。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「大切なおばあちゃんとおじいちゃん」



コメント:おばあちゃんとおじいちゃんとの思い出や好きなことをイラストにしました。私のだいすいな 2 人です。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「活躍するおばあちゃん」



コメント:世話好きの介護施設で働くおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「笑顔がいっぱい」



コメント:笑顔のおじいちゃんとおばあちゃんが好きなので描いた。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「おばあちゃんのげきウマ飯！」



コメント:いつもおばあちゃんの作るご飯がすごくおいしくて、おばあちゃんには長生きして欲しいです。

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「孤独感をなくすために」



コメント:認知症対策にも！！

島根県立松江農林高等学校 2 年  
「あたたかい笑顔」



コメント:手をふってくれたのがうれしくてあたたかかった。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「大切なおばあちゃん」



コメント:おばあちゃんといえで考えておばあちゃんを思って描きました。



島根県立松江農林高等学校 3 年  
「笑顔」



コメント: 笑顔を大切に描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「大好きだよおじいちゃんおばあちゃん」



コメント: 幸せそうな姿を想像して描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「おじいちゃんとおばあちゃんとお墓参り」

コ  
時  
き  
ま



メント: 夏のお盆の時、お墓に行く  
のおじいちゃんとおばあちゃんを描  
した。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「笑顔」



コメント: きれいに描けました

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「祖父母」



コメント: 大好きなおじいちゃんおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「楽しいお散歩」



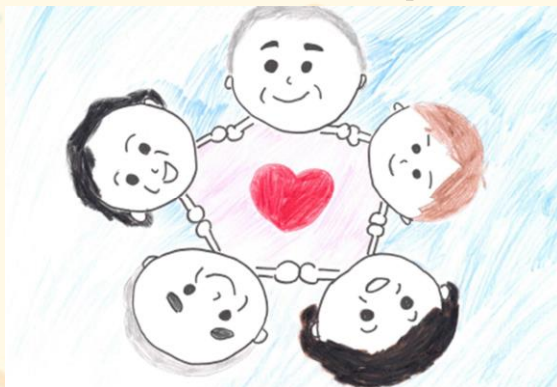
コメント: 2 人のあたたかい感じを  
表しました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「うなぎ」



コメント: 普段介護施設にいる祖  
父が久しぶりに家に帰ってきて祖  
母と一緒にうなぎを食べている

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「おじいちゃん、おばあちゃん大好き」



コメント: 大好きな気持ちを絵にしました。



島根県立松江農林高等学校 3 年  
「BIG LOVE♡」



コメント:元気でいてね♡

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「四季の介護」



コメント:笑顔であふれている介護が一年中続くいいなという思いで描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「空と地をつなぐ2人」



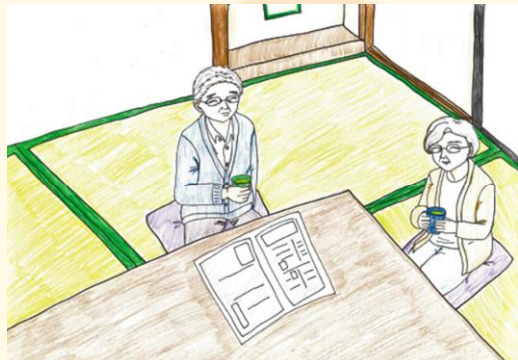
コメント:おじいちゃんは亡くなっているけど、みんなの心に生き続けていることをイラストに表現しました。カメラにはおじいちゃんがいなかったという事も工夫しました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「楽しく談笑」



コメント:おじいちゃん、おばあちゃんたちと私で、ちゃぶ台を囲みながら楽しくお話ししている様子を描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「いつもの風景」



コメント:いつも仲が良いおじいちゃんとおばあちゃんを描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「祖父の至福のひととき」



コメント:3歳の弟が祖父に会ったときに、私たち家族も介護者の方もみんなが笑顔になっていて、普段会えない分、今の時間が至福のひとときだと思いました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「私のばーば」



コメント:よくアイスやせんべいなどを半分こしてくれるおばあちゃんです。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「花火大会」



コメント:私のおじいちゃん、おばあちゃんは花火がとても好きなので花火大会の様子を描きました。



島根県立松江農林高等学校 3 年  
「利用者さんと折り紙」



コメント:施設実習で利用者さんと折り紙をした場面を描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「おばあちゃんとの七夕」



コメント:亡くなってしまったおばあちゃんとの夏休みの思い出を描きました。毎年恒例で楽しみにしていたことでした。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「笑顔の2人」



コメント:2人の笑顔や楽しそうな雰囲気が伝わるように描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「日常」



コメント:おじいちゃんとおばあちゃんの仲良い様子を描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「優しいおじいちゃんとおばあちゃん」



コメント:優しいおじいちゃんとおばあちゃんを描いて、ほわほわしている感じで表したかったので、周りに花を描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「おいしいトマト」



コメント:おじいちゃんおばあちゃんが作ったトマトがあまりづばくておいしいので描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「大好きなおじいちゃんおばあちゃん」



コメント:おじいちゃんおばあちゃんを思いながら描きました。

島根県立松江農林高等学校 3 年  
「いつまでも一緒」



コメント:大好きな祖父母を思いながら描きました。



# エピソード部門

### ケアマネジャー(47歳) 「祖父母への恩返し」

「カヅ、おかえり。」

短大を退学した日、帰宅すると、近所に住む祖父母が笑顔で出迎えてくれた。私はそんな祖父母に介護で恩返しをしようと心に決めた。

祖父は82歳の時に病院で亡くなり、その約10年後、祖母が92歳の時に、私は祖母のケアマネジャーになった。私は祖母に恩返しができることが嬉しくてたまらなかった。

キーパーソンの伯母は、以前から祖母を自宅で看取ると決めていた。そして、祖母との永遠の別れの日が来た。

訪問看護師と一緒に訪問していた私は、祖母の呼吸が浅いことに気付き、訪問看護師がすぐに主治医に連絡した。最期が近づく祖母に、私は精一杯今までのお礼を伝えた。

母も到着し、伯母と母と私は祖母の最期に立ち会えた。祖母が息を引き取る瞬間には涙が止まらなかった。祖母は命ある限り生きることを教えてくれた。私のケアマネ人生の原動力は祖父母の存在だ。これからも、ずっと。

【応募者コメント】あの日の祖父母の笑顔が、これからもずっと私のケアマネ人生を支えてくれるにちがいない。

### パートタイマー(77歳) 「擬似体験」

原因は定かではないが、坐骨神経痛等で歩行が困難になった。整形外科に行ったらレントゲンやMRIで検査してもらって、現在はリハビリをしながら生活している。一番厳しいのは朝起きて、トイレに行く時である。右足が痛みで力が入らない。トイレまでの5メートルが放水時間との勝負だ。何とかクリアすると、2階から階段を一段ずつ降りて居間に向かう。週に4日パート勤務しているが、痛みのために妻の送迎付きで出かけているが、前に屈めないで靴下を一カ月妻に履かせて貰ってきた。また、長年大事にしていた水虫退治をするために高価な薬を購入していたが、塗ることが出来ないのも妻に風呂上がりに塗ってもらった。当然、足の爪切りもお世話になった。「お前100まで、わしゃ99まで」と冗談のように言っていたが、意外と早く介護体験を受けてしまった。近所にいる1歳の孫のような私をお姉ちゃんやお兄ちゃんの孫達はどう見ているのだろうか。

【応募者コメント】介護なんてする方と思っていたが、されてしまった。ありがたい経験だったが、体幹を鍛えて本番はまだまだ先へ伸ばしたい。

### ケアマネジャー(57歳) 「後悔を生きる力に変えて」

幼い私を引き取り育ててくれた養父母。私が九歳の時に倒れた姑を三年半の間、養母は一人で介護していた。今でいう要介護5の状態。疲労困憊の中、養父が急逝した。姑の介護に明け暮れ夫の異変に気付けなかったと自責の念に苛まれ病んでいった。心因性喘息となり夜中に度々呼吸困難の発作に見舞われ、救急外来に搬送し入退院の繰り返しとなった。

ある晩の点滴中に「私がいなくなればあなたは楽になるのに。ごめんね」と言う養母に「そうだよ。早く死んでよ。もう嫌だ」と言った。十代の私に重くのしかかる介護に疲れていたとは言え思える養母に死んでよと言ったあの日の私を消してしまいたいとずっと思ってきた。その私がケアマネジャーとして日々利用者さんとご家族に育てていただいている。介護は時に孤独で先が見えない。しかし尊い行いである。全世代対応の、誰も取りこぼされることのない共生社会の実現に向けて微力ながら私の経験を生かしていきたい。

【応募者コメント】過去の私に「よくがんばりました」今の私に「大丈夫!!」そして未来の私に「これからもよろしく」どんなつらい経験も無駄にはならない。すべて自分の糧となります。

### 主婦(45歳) 「家族の枠の外から来た救世主」

義父が、家族の提案を全く聞き入れてくれません。家族からの提言は頭ごなしに拒否されるのです。そんな義父が骨折し、入院中に先生たちと相談して介護認定をお願いしたところ要支援の認定を受け、ケアマネジャーさんが相談に乗ってくださることになりました。これがすごいんです！ 家族の言うことには何一つ「うん」と言ってくれなかった義父がプロであるケアマネジャーさんの言うことには耳を傾け、アドバイスを聞き入れてくれます。家族の言葉は義父には届かないのです。まるで歪んだ鏡に映された虚像のように、義父には受け入れがたいものとしてしか見えていないのですが、ケアマネジャーさんを通して語られると自然と受け入れられるのです！ 義父に対する思いは同じだと思うのに、家族と、そうではない第三者の言葉とでこんなに違いがあるのか！と驚きつつもとにかく毎週2リハビリに通ってもらえて私たちはとても安堵しています。

【応募者コメント】なぜでしょう 私たちの思いが、どうやっても義父には良いように伝わらないのです。そこにたった1人、身内でない人が入って下さっただけで、突然物事が円滑に回りだしたのです！ 新鮮な風が吹き抜けたようでした。

### 看護師(70歳) 「寝たきりになって気づいたこと」

40年も前の決して忘れられない、私にとっての貴重な体験があった。2人目の出産のため実家に帰っていたある日、足に力が入らなくなり、どんどん歩きにくくなったため病院受診。ギラン・バレー症候群(上行性交感神経麻痺)と診断。准看護師であった私にとって初めて聞く病名。臨月であったけれど、お尻までしびれてきていたため、陣痛促進剤を使用して、なんとか出産。その後、子宮収縮剤を飲まれた途端、全身が一気にしびれ、足も動かなくなり、頭を上げることもできなくなった。あっという間に寝たきり状態。この日から重力の存在を認識した。身体の上に見えない重石を乗せられてる感じ。体交でその重石がスーッと消えていく爽快感。寝たきりになると、人として扱ってくれないナース。たくさん気づきがあり、5カ月後退院した私は、神様に生かされているのは、意味があると感じ、誰かの役に立てる人になろうと今を生きています。

【応募者コメント】寝たきりになってるかたが、どんな状態にいるのかをしってほしい。病室は、いかにさびしいか、何もみえず、ただ会いに来て、日常の会話ができることが、どんなにうれしいか。



### 介護士(42歳) 「介護を通して嬉しかった事辛かった事」

私は約3年ぐらい介護士として働いてます。まずは、嬉しかった事。普段生活していたら年齢とかも違うご利用様と出会えた事。私には生まれてから自分のおばあちゃんやおじいちゃんがいません。何かのご縁で介護施設とも出会いその中でご利用様と出会えた。ご利用様の中にはさまざまな方がおられ、なかなか言葉が伝わらない利用者様。でも、笑顔でゆっくり話したら首を振ってくれる。心で話す。伝える。手を握り話す。じゃあ、握り返してくれる。後は、ざっばらんに話して笑いあえる利用者様もいます。次辛かった事は、人って絶対にお別れする時が来ます。仲良くしてくださった利用者様が天国に旅立つ時。私は泣いてしまう。その時心の中で次出会える時は沢山お話しし思い出作ろうね。っと。後お疲れ様でした。ありがとうって伝えます。体力が辛い時も、精神的に辛い時もあります。でも、私はこの仕事が好きなのはご利用様の笑顔を見れるから好きです。

【応募者コメント】自分が介護士として働いて感じた事を書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「嬉しさ」

介護を通してうれしかったことは、ありがとうという言葉です。実際に高齢者の方の介護はまだしたことないけど、学校の実習で車いす介護などの途中で友達から「ありがとう」と言ってもらえたことがすごくうれしかったです。それに、そのありがとうの言葉から笑顔が生まれてすごく心も癒される体験だったと感じました。だけど、学校で介護の勉強をしていくうちに自分の身の回りの環境は高齢者の方にとって快適なのかと考えるようになりました。例えば、段差の高い階段、角度の高い坂道など足腰の悪い高齢者の方にとってこれは苦痛だと感じました。でも、その階段などをどうにかすることは僕にはできないから、僕は自分のおじいちゃん、おばあちゃんだけだけど話し相手になってあげることにしました。話し相手になってあげることで、笑顔が増えてうれしそうだから僕もうれしい気持ちになれてとっても幸せです。

【応募者コメント】学校での学びから実践してみたことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「施設実習で学んだこと」

私は施設実習で初めて認知症の方とお話しさせていただき、認知症の方の介護を始めて目の前にしました。何回も同じことを言うことに慣れず最初は戸惑いました。気分の上がり下がりも大きく常に気にかけていました。お手洗いにいくにも一人向かおうとしたり帰りたいといわれたときは何とっていいかわかりませんでしたが、徐々に慣れ楽しくお話することもできました。何かお願いするときは「お願いします」してもらったら「ありがとうございます」などと言うように心がけ楽しい雰囲気でも一日を終えることもできました。認知症の方も「できる！」そう職員の方に教えてもらいました。私の認知症の方への考え方は何ができるのかでしたができるんだとこの施設実習を通して考えさせられました。

【応募者コメント】認知症の方への考え方が少しでも変わればいいなと思いました。

### 島根県立松江農林高校3年 「介護を通じてうれしかったこと」

私は福祉施設の実習に行き、介護について学びました。授業の介護実習では生徒同士で行うので体を動かすのは簡単だったけど、福祉施設に入っている方を介護するとなると学生の自分にできることは限られていると感じました。緊張や不安でいっぱいだったけど、施設の職員の方々が丁寧に教えてくださり、利用者の方々も焦らないようにやさしく声をかけてくれたりお話ししてくれたので自分を受け入れてもらえて嬉しかったです。

また、食事介助の際に少しお手伝いさせてもらい、ありがとうと感謝の気持ちを伝えてもらい明日も頑張ろうと思いました。

その場にいる全員が暖かい人たちだったので安心して実習に臨めました。

施設実習最終日にお礼を言って回ると、皆さんに感謝の気持ちを言ってもらいとてもやりがいを感じました。

【応募者コメント】施設実習で得た学びややりがいを忘れず、いろんな人に知ってもらいたいという思いで書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「自分らしい人生」

私は特別養護老人ホームで実習をおこなったことがある。施設へ行く前は利用者さんと上手くコミュニケーションがとれるかどうか、準備したレクリエーションを楽しんでくださるかなど不安が多くあった。だが、初日に利用者さん一人一人に挨拶に伺った際にとても優しく笑顔で迎えてくださってとても安心した。そこから四日間、実習をして新しく学んだことがたくさんあった。なかでも介護に特に大切なのは思いやりと笑顔だと気づいた。これは当たり前のことかもしれないけれど、利用者さんが安心して施設で過ごせるようにするためにも必要不可欠なことだと感じた。また、利用者さんが楽しく生きるためにも生活に工夫をもたらすことが重要だと学んだ。そのうちの一つがレクリエーションである。いろいろなレクリエーションを通じて利用者さんの笑顔をたくさん目にした。こうしたように、介護とは利用者さんが自分らしく生きるためにある大切なサービスだと感じた。

【応募者コメント】誰もが自分らしく生きれる社会になればいいなと感じました。

### 島根県立松江農林高校3年 「施設実習の際に感じたこと」

高校3年生の夏休み前に介護老人ホームへ施設実習に行きました。3日間行かせていただいて、その中で様々な学びがありました。食事介助の時、どのような角度でスプーンを利用者の方に持っていったら食べやすいのか、入浴介助でドライヤーをやらせていただいた時、どのくらいの力で乾かせばいいのか、その他にも様々なことを学ばせていただきました。その中で、コミュニケーション方法は難しいなと感じました。なぜなら、耳が遠いからです。高齢者の大半が耳が遠くて小さい音が聞こえない方が多いです。そして私が行かせていただいた老人ホームは要介護が高い人が多かったため、あまりおしゃべりをされない方もおられました。その環境の中でどのくらいの大きさと、どのくらいの速さで、どのくらいの近さで話せばいいのかすごく難しかったです。でも、最後、指導担当者の方に「コミュニケーション上手にとれてたよ」と言ってもらえてすごくうれしかったです。

【応募者コメント】夏休み前に施設実習の際に、介護の実際の現場に立ってみて感じたこと、思ったことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「介護現場での出来事」

私は高校3年生の時、介護施設へ実習に行きました。最初は、初めてのことばかりで不安なことではいっぱいでした。利用者さんとのコミュニケーションの仕方がわからず、戸惑ってばかりいました。ですが、利用者さんとのコミュニケーションに慣れると焦りと緊張が少しずつ和らいでいき、楽しく会話することができました。実習の3日目では、とてもやさしい利用者の方が話しかけてくださって、とても楽しく会話ができました。そして、帰り際にその利用者の方から、「あなたがいてくれてよかった」と言ってくださいました。その時私はとてもうれしく思い、誰かの支えに自分は少しでもなれたんだと実感することができました。それから、私は将来看護師を目指すということに、少し自信が持てたと思います。

【応募者コメント】介護施設でお会いした1人の利用者さんに思ってもいなかったことを言われ、とてもうれしい気持ちになった。

### 島根県立松江農林高校3年 「施設実習での経験」

先日、施設実習がありました。いろいろ学んだことの中でも1番印象に残っていることで利用者さんに言われえてうれしかったことがあります。私は、食事の介助を体験させてもらいました。利用者さんは嚥下をすることが難しい方で、うまく食べられない時もありました。そして食べ終わった後、「ありがとうね」と言われ、とてもうれしかったです。そのとき、福祉の仕事は、どの仕事よりも感謝される仕事だと思い将来に向けてもっと頑張ろうと思いました。

逆に、どうしていいかわからなかったことは、利用者さんはたくさん水が飲みたいけれど、決まった量しか飲めない方だったのでたくさんあげられませんでした。ちょうどと言われ説明した時、少し悲しそうな様子だったのでとても苦しかったです。

しかし、そのあとに職員の方と会話し元気が取り戻され、職員の方はすごいと思いました。

【応募者コメント】私も将来、人を笑顔にしたいです。

### 島根県立松江農林高校3年 「施設実習に行って一番嬉しかったこと」

7月に特別養護老人ホームに施設実習に行き、多くのことを学びました。普段では関わることのない高齢者の方々とたくさんコミュニケーションをとり、4日間という短い期間の中で高齢者さんへの寄り添い方や接し方を身近で見ることができました。その人の性格に寄り添った介護の進め方や、レクの提案など今回施設に行ったことで見れた場面が多くありました。実際行ってみると、気が荒い高齢者の方や知らない人にだと会話をしてくださらない方もいて、この環境に少しでも慣れることができるのかと不安な気持ちにもなりました。ですが、介護者の方々が高齢者さんとのコミュニケーションの時間になると、少しでも打ち解けられるように会話の間に入って下さり、日が経つごとに高齢者さんとの対一でも会話ができるようになりました。これをきっかけに、食事を運んだりすると「ありがとう」と言っていただけになり、とてもうれしい気持ちになりました。

【応募者コメント】施設実習に行き一番うれしく感じたことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「施設実習で学んだこと」

デイサービスでの施設実習を通して、多くのことを学びました。デイサービスへ行ったのは初めてで、はじめはとても緊張しましたが、利用者さんや職員の皆さんが笑顔で話しかけていただき徐々に緊張がほぐれていきました。実習中には実際に入浴を終えた利用者さんの髪の毛をドライヤーで乾かせていただきました。乾かし終わった後に利用者さんから「ありがとう」と言われたときはすごく嬉しかったです。また、最終日には私たちが考えたレクリエーションで遊んでもらいました。遊んだ後には「楽しかった。またやりたい」と言っていただき、頑張って考えてよかったなと思いました。4日間というあっという間な期間でしたが、たくさんことを得ることができた貴重な4日間でした。個人を尊重した介護を行うことで信頼関係を構築し、より快適に過ごしてもらえということがわかりました。この経験を今後の将来に生かしていきたいです。

【応募者コメント】施設実習では安心してもらえる介護というのが最も重要だと改めて実感しました。



### 島根県立松江農林高校 3 年 「介護技術コンテストで学んだこと。」

私は、高校三年生の時に、介護技術コンテストに出場しました。福祉系列で勉強したことを踏まえながら、課題に取り組みました。しかし実際に介護をしたり見たりしたことはなく、イメージが湧かなかつたためとても難航しました。最優秀には届きませんでしたが、優秀賞をいただきました。悔しかったですが、学んだことは多くありました。私は昔、介護職はただ食事や入浴などの「介護をするだけ」だと思っていました。しかし、介護という仕事は、介助はもちろんのこと、利用者さんにあった声かけや対応をすることや、目線を合わせたり、笑顔でコミュニケーションをとること、エコマップやジェノグラム、ICF を踏まえて一人ひとりの介護にあたるということを学びました。また介護をすることによって、利用者さんとの仲が深まったり、「ありがとう」をもらうことができる素敵な職業だと感じました。今までよりもっと身近に介護を体験できたい経験になりました。

【応募者コメント】介護技術コンテストに出場し学んだことを書きました。

### 島根県立松江農林高校 3 年 「介護を通して」

私は、特別養護老人ホームへ実習に行きたくさんの学びを得ました。私が特に学ぶことができたのはコミュニケーションについてです。実習初日は緊張や、どんなことをどのように話したらいいのかわからない、という思いで中々利用者さんとコミュニケーションをとることができませんでした。実習をしていく中で職員の方たちに、どのように話したらいいのか、この方はこんなものが好きだよなど、様々なことを教えてもらいました。さらに、実際に職員の方が利用者さんと話しているところを近くで見ながら、自分でも真似したいことを探すこともできました。そのおかげで、段々とお話することができるようになりました。自分から話しかけてお話ができるのも、利用者さんから声をかけてもらえるのもどちらもとても嬉しかったです。利用者さんとお話する中で嬉しさを感じ、コミュニケーションの大切さが改めてわかりました。

【応募者コメント】施設実習を通して一番印象に残ったことを詳しく書きました。

### 島根県立松江農林高校 3 年 「介護にしかないやりがい」

私は介護施設の実習に行き、介護の辛さを学んだと同時に介護にしかないやりがいを感じました。実習の内容は食事介助や入浴介助の見学など休む時間がなく、利用者の方も人それぞれ感じている思いが違うためどう接するべきがたくさん悩みました。また実習生という立場でできることは限られていて、利用者の方の要望に応えられない時、厳しい言葉をかけられることもありました。

それでも私が最後に実習をして良かったと思えたのは利用者の方との会話があったからでした。私が質問をすると笑顔で答えてくださったり、昔の話や娘、息子の話など様々な話を聞かせてくださいました。そのおかげでとても参考になり、これが介護にしかないやりがいだと感じました。

今、介護ロボットが普及しています。もちろん介護ロボットがいることにより介護の仕事の効率はあがります。ですが介護は人と人が繋がってこそ魅力を感じることができるのだと感じました。

【応募者コメント】介護は介護にしかないやりがいを感じることができる素敵な仕事だと思いました。もっとすべての人が暮らしやすい世の中になるといいです。

### 島根県立松江農林高校 3 年 「介護を通してもらった勇氣」

私が 7 月、施設実習で介護施設に行った際、私がもらった勇氣についてです。4 日間の実習は初めてで私が体験したすべてはほとんどが初めてなことばかりでした。その分、心配もあり不安が毎日毎日ありました。その時私に優しく話しかけてくださったのが 4 日間ずっと通われておられた A さんでした。趣味時間を一緒に過ごす時もお茶の時間を一緒に過ごす時もずっと笑顔で「おつかれさんだね」と話しかけてくださったことを覚えています。特に印象に残ったことは私が助産師を目指していると言ったとき「絶対なれるよ」と力強く肩をたたいてくれた時です。自分は将来についてすごく考えていた時期でした。なのでまた一歩前に踏み出す勇氣を持つことができ、今の私にとって必要な言葉だったと思いました。このようなエピソードから私は介護を通して勇氣をもらいました。この勇氣を次は私があげる側になりたいと思います。人の夢を後押しできるって本当に素敵です。

【応募者コメント】助産師になることができたなら背中を押してくれた A さんにまた会いに行きたいです。

### 島根県立松江農林高校 3 年 「介護のやりがい」

私はデイサービス施設で実習を行いました。そこで、利用者さんのパズルの手伝いをしました。利用者さんは最初は「こんなに細かい作業はできない。」や「私は見ておくからあなたがやって。」などと言い、諦めていました。そのとき私は「少しずつでも大丈夫なので、一緒にやりましょう。わからないところは手伝います。」と声をかけました。そうすると、利用者さんは私に聞きながら取り組んでくれました。そして、だんだん自分から進んでパズルをし、完成したときには「あなたのおかげでできたよ。ありがとう。」と言ってくれました。私はその言葉を聞いて誰かの役に立っているという実感がわきました。また、声をかけてよかったと思うことができました。この出来事から自分のしたことが誰かの役に立ち、感謝されるということがとてもうれしいことだと実感しました。だから、これからも相手の気持ちを考えながら、誰かの役に立つ行動をしたいです。

【応募者コメント】施設実習で感じたうれしいことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「介護を通して得た学び」

私は7月に施設実習に行き、そこで多くの学びを得ることができました。利用者様が自分でできる機会を私たちがなくしてしまわないよう、利用者様が自分でできることは声掛けを行って促したり一緒にやったりしている様子を見て、介護というのは単に「やってあげる」のではなく、その人自身を尊重してサポートすることなのだと感じました。また実習している中で利用者さんが「職員の方に勝手に部屋に入られて物を触られたのが嫌だった」と話してくださり、私も介護をする場面になったらその人のプライベートや尊厳を守ったうえで介護を行っていきたいと思いました。最終日には職員の方々の協力のもと、私が考えたレクリエーションをさせてもらいました。利用者の方々が笑顔で楽しくやっておられる様子を見てすごくうれしい気持ちになりました。4日間で介護に対する見方や感じ方が変わったと感じたので、この経験を生かして高齢者の方々と接していきたいです。

【応募者コメント】普段の授業では感じることでできない介護現場の空気感やその場で学んだことを自分なりに分かりやすく書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「これからの『介護』について」

私は、隠岐の島町に曾祖母がいます。一年に一度家族で曾祖母に会いにっています。少しずつ認知症が進んでおり、私たちのことも忘れてしまうことが増えてきました。しかし、「来てくれてありがとう」と笑顔で温かい言葉をくれました。私たちのことを忘れてしまっても、曾祖母が笑顔で過ごしてくれることが私たちにとって幸せなことだと思いました。今は、曾祖父が約五年前に亡くなったので曾祖母は一人で暮らしています。周りに頼る人がいないため一週間に一回ヘルパーの方が来てくれます。ちょうど私たちが会いにいったときにヘルパーの方に会うことができました。とても親切な方で曾祖母に「不安な気持ちはありませんか」など寄り添ってコミュニケーションを取ってられました。その姿を見て、一人で暮らしている高齢者の方が寂しくて孤独を感じることがないように安心を届けれる介護を行えるようになりたいと強く思いました。

【応募者コメント】一人で暮らしている高齢者の方が少しでも孤独を感じないように介護についてより深く知識や技術を身に付けていきたい思いを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「実習で学んだ介護の現状」

私は授業で介護施設へ実習に行きました。その際に男性の利用者の方が「お手洗いにいきたい」と手を挙げて、職員の方を呼んでおられました。しかし職員の皆さんは他の利用者さんの介護をしており、呼んでおられた男性のもとへすぐに駆け付けることが難しそうでした。男性は何度も何度も呼んでおり、職員の方々も「〇〇さん今行きますよー」という場面がとても印象に残っています。そこで私が感じたのは、職員さんが駆け付けなかったことが問題なのではなく、職員の人出が足りないことが問題だということです。職員さんも男性にすぐ駆けつけたいという気持ちがあったと思います。しかし実際に介護にかかわらず、看護、保育など様々な分野で人手不足が話題となっています。私はそのような人手不足に悩まされている社会に少しでも貢献できる看護師になりたいと思いました。今後、利用者の方が何度も何度も職員さんと呼ぶという場面がなくなることを祈っています。

【応募者コメント】介護施設へ実習に行った際に、介護現場での現実を学び、より将来への思いが強くなったことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「実習で学んだこと」

私は、学校の授業の一環としてデイサービス施設へ実習に行きました。はじめは、緊張と不安でいっぱいでしたが、職員の方や利用者さんが優しく接してくださったので、楽しく実習することができました。この施設実習で一番うれしかったことは、利用者さんに「ありがとう」と感謝の言葉を言ってもらえたことです。配膳、配茶した際やお皿などを片付ける際に、笑顔で「何度もありがとうね」や「おいしいお茶ありがとう」と言ってもらえたときが一番うれしかったです。また、自分が考えてきたレクリエーションを楽しんでくれている姿を見て、私も、元気をもらいました。実習最終日には、「4日間本当にありがとうね。また来てね。」と言ってもらえて、介護のやりがいを感じました。人と話すことが苦手ではじめは自信がありませんでした。ですが、利用者さんが話を振ってくださったり、広げてくださったので、安心して最終日を迎えることができました。

【応募者コメント】施設実習で感じたことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「素敵な思い出」

学校の授業の一環で施設実習へ行きました。そこで出会った一人の利用者さんとの話です。その利用者さんとは初日からお話をしていました。私はとても緊張しており、なかなか話題を作ることができませんでした。しかし、その利用者さんはそんな私に優しく笑いかけて下さり、私の緊張も解けていきました。そして、次の日から私の提案で二人で作り物をするようになりました。最初は私が「どれにしますか？」と問うと「あなたの好きなのにしなさい。」とおっしゃいました。しかし、時間がたつと「これがいいんじゃない？」などと提案をさせていただけるほど私と利用者さんの関係は深まっていきました。私はこのことをきっかけにその利用者さんとは目が合ったら手を振ろうねと約束をし、朝は「おはよう」と手を振って帰るときには「またね」と手を振るようになりました。私はこの実習で大切な友達ができたような気がします。この思い出を大切にしていきたいです。

【応募者コメント】この思い出や雰囲気を忘れないで、この先大変なことがあっても思い出して乗り越えていきたいです。



### 島根県立松江農林高校3年 「介護でうれしかったこと」

私が施設実習での介護を通じて感じたうれしかったことは、利用者の方の笑顔や「ありがとう」という言葉です。施設で利用者の方たちとお話をしていると「昨日も来てくれてたよね」、「若い子が来てくれると嬉しい」など笑顔で話してくれてとてもうれしく感じました。他の日には私たちが考えて行ったレクリエーションを行い、始めは楽しんでもらえるか不安もあったけど実際にやってみたら楽しんで参加してくださる方が多くとても安心しました。レクリエーション後に職員の方に話を聞くと、普段あまり話したりされない方が楽しそうに参加されていたと教えてもらいとてもうれしかったです。後からその利用者の方のお部屋に行ったときに直接「今日はレクリエーションありがとうございました」と声をかけてくださったことが一番印象に残っています。難しく感じることもありましたが、利用者さんの笑顔などがとてもやりがいにつながると感じました。

【応募者コメント】夏に施設実習に行き実習で感じたことを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「介護に対する思い」

私は普段、介護に関わることはあまりありません。しかし、親が介護に関わる仕事をしているので少し身近に感じています。仕事がある日は疲れて帰ってくることも多いですが、その日にやった楽しかったことや嬉しかったことなどをよく聞いています。私は介護の現場に直接かかわることはないのだから分かりませんでしたが、大変なことばかりではなく、この職を通して出会った嬉しかったことはたくさんあると知ることができました。これから先、介護という経験をする時があるかもしれません。その時は、大変なこと多いかもしれませんが、嬉しかった出来事などを覚えておきたいなと思いました。

【応募者コメント】介護に関する思いを書きました。

### 島根県立松江農林高校3年 「私の思う介護の在り方」

私は高校生に入るまで、「介護」と聞いて食事や入浴、排泄など生活をする上での身体の介助をする事だと思っていた。高校に入学し、介護を専門的に学んでいく中で私の中の介護という概念が大きく変わった。私には認知症を患う祖母がいる。祖母の記憶の中では、私は中学三年生を生きている。しかし、私は今大学受験を控える高校三年生。祖母はいつも「高校受験頑張てね」と応援してくれる。その度に私は中学三年生に戻り祖母と会話をします。その時に私は思った。介護というのは、身体を支えることだけではなく、その人が生きている現実の中に入り込み、時間を共にするということだ。その人の思い描く世界を、現実に戻すのではなく、一緒に楽しむことなのではないのだろうか。祖母の記憶が、更新され続けなくなっても私は何度でも中学三年生に戻るだろう。祖母の記憶の中での私も、大学受験を控える高校三年生の私も笑って終われる結果になりますように。

【応募者コメント】祖母の応援が中学三年生の私に対しての応援だったとしても、大学受験を控える私にとってすごく背中を押してくれるような言葉で、祖母は私にとってとても心強い存在だなと感じました。

### 専門学生(40歳) 「介護福祉士を目指す喜び」

私はまだ介護福祉の専門学校で学んでいる学生ですが、初めて実習現場を体験した時に利用者さんと打ち解けることができずに、中には最初から敵意を持たれる方もいました。その原因がこちらから先にその方のお名前を呼んだことだと分かり、次からは自分から先に名前を名乗ることによって少しはコミュニケーションを取ることができました。打ち解けるまでには至らなかったのですが、少しずつ信頼関係を取れることができるようになったと思います。一人一人違う利用者さんの状態を観察しながら、少しずつ少しずつ改善できることを感じました。まだまだ一人前の介護福祉士になるのは遠い道ですが、学校での勉強と一緒に、現場での実習体験を積み重ねることによって、利用者さんや地域の期待に応えられる介護福祉士になる目標に近づくことができることを実感し、自分が選んだ道は苦しい中でも希望を持てるものだと思います、自然と笑顔になりました。

【応募者コメント】まだまだ介護福祉士のたまごですが、利用者さんとのコミュニケーションを通じて目標に向かって歩んでいきます。

### パートタイマー(62歳) 「介護する側になって」

深夜二時、再び名前を呼ぶ声で目が覚めた。体はまだ布団に沈み込みたがっているのに、心臓だけが急かすように早鐘を打つ。立ち上がり、ふらつく足で部屋に入ると、そこには不安そうな母の顔があった。「トイレ…」その一言に、私は慌てて体を支える。けれど思うように動いてくれない身体は重く、私の腕からずり落ちそうになる。必死で抱きかかえるのに、「痛い、やめて」と拒まれる。胸の奥で何かが崩れた気がした。私は何をしているのだろう。助けたいの、怒りと涙が同時に込み上げてくる。息が詰まりそうになりながらも、誰にも聞こえない声で「もう無理だ」と呟いた。けれど、その手を離すことはできない。たとえ心が削れても、ここで支えるのは私しかないのだ。暗闇の中、静かに震えるその背中を支えながら、当時の私は自分の弱さと、介護という現実の重さを痛感していた。母なき今、あの時の私の感情を胸にしまい今日を生きている。

【応募者コメント】介護は介護する人の健康も大事だと思いながら書きました。

가치부분



### 「仲良しの2人」

介護職(47歳)

【応募者コメント】仲のいいお二人のご利用者が器を見て気に入られ、喜ばれているところを写しました。日々この笑顔に癒されながら仕事をしています。



### 「みかんのばあちゃん」

主婦(45歳)

【応募者コメント】介護される側の祖母でしたが、甲斐甲斐しくひ孫(私の娘)の世話をする姿をみて温かい気持ちになりました。祖母は他界しましたが娘は大きくなった今でも「みかんのばあちゃん」のことを不思議と良く覚えているのです。



### 「おばあちゃんと一緒」

介護職(47歳)

【応募者コメント】施設みんなで松江フォーゲルパークへ遠足に行きました。その中でご利用とお孫さんが仲睦まじく手を繋いで歩く姿が印象的でした。





松江市介護保険課